

2024年2月フォーラム・リカレント委員会&勉強会ご報告

日 時	2024年2月17日(土)10時～12時 申し込み36名 形式 Zoom
テーマ	「キャリアの試行錯誤 - 学び直しの魅力とリスク -」
内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1 主催者挨拶 2 参加者自己紹介 3 ゲスト講演 4 質疑応答 5 まとめ 6 その他
講演者	<p>前田 吉広(まえだ よしひろ)氏 福山大学大学教育センター 講師 ノートプロジェクト 代表、 キャリアコンサルタント GCDF-Japan キャリアカウンセラー</p> 
司会進行	渡邊明男 (一般社団法人社会人基礎力協議会リカレント委員会委員長)
主催者挨拶 勉強会概要 説明	<p>渡邊明男リカレント委員長</p> <p>IDGs (Inner Development Goals) について。SDGsの目標17項目と同様に重要である。IDGsの5つのカテゴリーは、自分のあり方、考える、つながりを意識する、協働する、行動する、である。これは社会人基礎力の「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」に沿った内容である。改めて社会人基礎力の基本を確認し講演者のお話をお聞きいただきたい。</p>
前田氏 講演	<p>(1) プロフィール</p> <p>広島県福山市出身。筑波大学芸術専門学群を卒業後、富士写真フイルム株式会社にてデザイナーとして勤務。オーストラリアの大学院へ留学し、経営学修士号を取得。帰国後、東京の経営コンサルティング会社、ブランドコンサルティング会社を経て、地元福山市に戻る。</p> <p>現在は大学教員として学生のキャリア支援に取り組む傍ら、ブランディングを切り口とした経営支援をおこなっている。</p> <p>(2) 講 演</p> <p>現在の自分の軸になっている考え方がどのようにして生まれてきたのかを振り返る。</p> <p>①リカレント教育の定義確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ リカレント教育の必要性 <p>技術の進化と職業の変化(学び方が変化している)、技術の進化と職業の変化(デジタル技術等最新のスキル習得が必須)、長寿命化とキャリアの長期化(一生で複数の異なる職業を経験するキャリアチェンジ)、経済のグローバル化と競争の激化(最新のスキルを保ち国際競争で優位を保つ)。</p> ➤ リカレント教育が抱える課題 <p>財政的・時間的な制約、制度的・政策的な支援の不足、社会的・文化的認識の問題</p> ➤ 学び直しを実践しているのは誰か。 <p>更なる幸せを望む人、現状に満足していない人、これまでと違う生き方を望む人</p> ②「オンリーワン」が学習意識の原点に。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 大学受験の際に”自分で選ぶ”大切さを学ぶ <p>家の近くの公立高校に進学後、周囲との意識の差に感じ焦りが生じ模索の時期を過ごす。その中から選択した芸術学部へ進む。自分で選択した「成功体験」が自身になる。</p> ➤ ”他者と違う”ことが普通な環境の大学時代 <p>新しい学びにわくわくする。全然違うものに価値があると認識。他者とは違う「アプローチ・解決策」が評価される。</p> ➤ 「会社を救って欲しい」の一言が終活の決め手 <p>進学→就職と優先の度合いが変化、「新しいことに挑戦している会社」を選択。新しい価値が</p>

	<p>創造できるチャンスと考える。</p> <p>③試行錯誤だらけのキャリアデザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 選択基準は「ユニークな存在になれるか?」(どう活躍するか)3つの挑戦。 経営や戦略が理解できるデザイナーになれないか⇒一旦企業を辞して学び直すことを決意。 英語も学びグローバルな視点を持つことができた。 仕事とプライベートのバランスをどうしたらできるか⇒東京でのキャリアをストップし地元に戻る。 収入と生活の両立をさせたい⇒街づくりに参加、個人事業主となり大学講師へ。 子供たちの将来、新しい自分の発見、キャリアデザイン、確かな収入源を得る。 仕事も居住地も変えながら”ユニーク”な価値を模索し現職へ至る。 <p>④「ユニーク」から「イノベーション」へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 学び直しの「おもしろさ」 新しいつながりを生み新しい世界を見せてくれる手段⇒オリジナリティーが作られていく。 ➤ 学び直しの「リスク」 ドロップアウト、評価されない状態、過去の決断への迷い、従来の価値観を持つ人々からネガティブに思われる。 ➤ 学び直しが「しやすい」社会へ 経営・戦略が理解できるデザイナー、仕事とプライベート、収入と生活を両立させる。 ➤ イノベーション人材への憧れ 「全リセット」の学び直し、自身のキャリアを通じてこれからも試行錯誤する日々である。 折り返しの50年で自分らしい活躍の方法をつくり、見つけるための新しい学びに挑戦。
<p>質疑応答</p>	<p>Q1 すべての意思決定自分でしたのか。メンターなど第三者に相談をして決めたのか。 A1 最終的には自分の意志によるが、その時々々の相談相手はいた。</p> <p>Q2 決断時のサポートは大事である。身近な人々(家族等)のサポートは如何であったか。 A2 父親は「好きにすれば良い」との考え。配偶者はリスクの面では心配をしたが最後は応援してくれた。</p> <p>Q3 社会側がサポートできるのか疑問である。その点はどう考えるか。 A3 日本企業の変化は困難だが若者の価値観に沿った企業が今後生き残るのではないかと。</p>
<p>まとめ</p>	<p>渡邊明男リカレント委員会委員長</p> <p>すべての選択肢が想像の斜め上を行き。自己認識とともに種々の考え方で進んで来られたことに驚いた。最終的な意思決定を自身で行い、オリジナリティー(自分らしさ)を保つことは大事であると痛感させられた。</p>
<p>その他</p>	<p>次回のご案内 リカレント委員会フォーラムは2024年4月20日(土)10:00 講師 一般社団法人東京中小企業家同友会代表理事 株式会社ソーアシステム代表取締役社長 大脇 耕司 氏</p>
<p>ご参加のみなさま</p>	<p>ご参加ありがとうございました。</p> 